

令和4年度 学校評価 自己評価書 (3学期)

1 学校の重点目標

「仁(思いやり)の心,豊かな創造力,健やかな体」をもち,自ら学び,主体的にたくましく生きる力を備えた児童生徒の育成

- 自らを律し,協調性に富んだ心豊かな生徒を育てる。
- 自ら進んで学習に取り組み,創造性豊かな生徒を育てる。
- 健康な心身をめざし,自らの目標を定め,最後までやり通す生徒を育てる。

2 課題と改善策 (A:十分な取組を行っている B:重点的な取組を工夫したい C:早急に取組を具体化させ,改善を図りたい)

	評価項目	職員	評価結果と改善方針
心の教育	1 全教育活動を通した道徳性の育成	A	・道徳科の授業において,人権問題やジェンダー問題など,考え方の違いやとらえ方の違いに気付かせることができた。
	2 「心の教育の日」の工夫・充実と家庭・地域との連携強化		・副担任がローテーションで道徳科の授業を行うことで,多様な思考や経験に触れさせることができた。
	3 「道徳科」の充実		・日常の頑張りを認め,適宜,称賛の声かけを心がけた。
	4 地域の自然や文化・伝統に親しむ体験活動の推進		・いじめについて,共通の教材を用いた道徳科の授業ができた。
	5 人権尊重の意識に立ち,一人一人を大切に教育の充実		・学級花壇のデザインを考えるなど,花いっぱい運動に取り組むことができた。
	6 朝のボランティア活動,挨拶運動,花いっぱい運動の推進		○リーダー性の育成に努め,生徒会の自主的な活動を推進していく。
学力向上	1 基礎的・基本的内容の確実な定着を図る指導	B	・学習のゴールの明確化として,効果的にタブレットや学習プリントを活用することができた。
	2 思考力・判断力・表現力を育成する指導の充実		・復習問題に取り組みさせる時間の確保や個別学習の充実により,基礎基本の学習内容の定着に努めることができた。
	3 各種学力調査結果の活用		・乗り入れ授業によって,実験や活動内容を充実させながらできた。
	4 「共通実践事項」を基盤にした指導法の工夫改善		○更に効果的なタブレットの活用ができるように,研修の機会を設ける。
	5 家庭と連携した家庭学習の充実		○定期的に保護者面談等を実施するなど,家庭と連携を図りながら児童生徒の学習内容の定着や学力向上について一緒に考えていくようにする。
	6 教科指導におけるICT機器・タブレットの利活用の推進		○ICT機器の安全な取り扱いと管理の徹底ができています。
生徒指導	1 児童・生徒理解に基づくきめ細やかな指導	B	・職員全体で細かく情報共有を図り,連携しながら生徒指導が行われている。
	2 いじめ・不登校の未然防止		・特別支援教育の視点で,個々の児童生徒の理解と指導に努めてきた。
	3 自他の尊重・生命尊重に関する指導		・学級文庫の利用が定着し,読書量が増えてきた。
	4 学校・家庭・地域と連携した基本的生活習慣の確立		○諸アンケートを定期的実施し,児童生徒の実態把握に努める。
	5 読書指導の充実		○図書館利用の呼びかけや,児童生徒の興味に添った本の選書をするなど,学年別年間目標貸出冊数の達成に努める。
	6 発達段階に応じたキャリア教育の充実		○基本的生活習慣(挨拶,返事,言葉遣い,整理整頓)の定着に向けた
	7 特別支援教育の充実		・一校一運動として「なわとび運動」に取り組みさせたり,運動習慣の構築のため週一回の体力づくり活動を行うことができた。
体力向上	1 体力・運動能力の向上	B	・苦手な物も頑張る姿が見られるようになった。給食残食残量が少なくなってきた。
	2 保健指導や安全指導,給食・食育指導等の健康教育の充実		・毎月の校内安全点検が定着して実施されている。
	3 安全指導,危機管理の徹底		○望ましい生活習慣の育成に向けて,家庭との連携を強化していく。
	4 家庭と連携した望ましい生活習慣の確立		
特色ある学校	1 特色ある教育活動の推進	A	・あいご会活動や地域行事等において,保護者や地域の方々と共に連携を図ることができた。
	2 地域の教育素材を生かした活動の工夫		○地域の教育素材を生かした活動について,地域の方々と共に連携を図り,充実した学習につなげられるように努めた。
	3 学校情報の積極的な発信		○児童生徒が地域に関心をもち,地域と積極的に関わろうとする心育の育成に向けた取組みの検討。
	4 保護者・地域との連携強化と説明責任		
職員の資質向上	1 小・中合同による校内研修の充実	B	・共通テーマに沿った,各自の取組・まとめを確実に行うことができた。
	2 学級経営及び教科等の指導力・授業力の向上		・積極的にICT機器を用いるなど,児童生徒の実態に応じた授業展開を工夫することができた。
	3 情報教育の充実に向けた研究と情報管理の徹底		・授業の振り返りによる学習内容の理解と定着に努めることができた。
	4 新学習指導要領を踏まえた教育課程編成と完全実施		○小中併設校の特性を生かし,9年間を見通した一貫性のある教育課程の編成に向けた研修の充実。
	5 信用失墜行為等の禁止		○授業力向上につながる研修やICT機器の効果的活用に向けた研修の実施。
	6 校務の適切化・効率化及び適正な勤務時間管理と健康増進		○計画的な業務の推進や定時退庁の意識の定着。
教育環境	1 清掃作業,美化活動の徹底	A	・計画的,意図的な設営や掲示,安全点検等を生かした環境整備が行き届いている。
	2 計画的・意図的な設営の工夫・充実		・日常的に師弟同行で清掃等を行うことができています。
	3 学校版環境ISOによる取組の充実		○古い備品等の修理及び廃棄処理,施設設備等の修繕等の計画的実施。 ○ゴミの分別や節電等,環境に配慮した取組による意識改善。

3 次年度に向けての取組

- 学年のしめくり,また進学・進級に向けた学期となるため,児童生徒の状態の把握,全体での共通理解を図り,個に応じた学習指導のあり方(ICT活用含)等の充実や研修に努め,学校生活や諸活動が充実できるよう取り組んでいきたい。
- 五感を使った活動の充実による感受性の向上,道徳科の充実による多種多様な考えの認め合い,学校生活での多様な体験活動を通して,豊かな心の教育,気力・体力の育成に努めていきたい。